

# まほろばだより

2020  
December  
vol.35

～ Center for Diversity and Inclusion ～

第35号

## ● Contents ●

- ✓ Report1 第9回女性研究者学術研究奨励賞授賞式
- ✓ Report2 本学教員の競争的資金獲得割合
- ✓ Report3 「令和元年度職員満足度調査」集計結果(労働時間編)
- ✓ Information1 第10回女性研究者学術研究奨励賞の募集
- ✓ Information2 令和3年度上半期研究支援員配置希望者の募集

Report

## 第9回女性研究者学術研究奨励賞授賞式を開催しました



9月24日、本学本部棟小会議室にて「第9回奈良県立医科大学女性研究者学術研究奨励賞授賞式」を執り行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授賞式は関係者のみの出席で行い、その模様についてはオンラインでの同時配信としました。

今回は、3月3日に選考委員会が開催され、病理診断学講座の内山智子先生が受賞されました。授賞式では、細井学長から選考の講評・賞状等の授与が行われ、内山智子先生が「睡眠時無呼吸症候群のインスリン抵抗性発現の分子機構の解明」について講演されました。

### 【内山智子先生からのコメント】

この度、第9回女性研究者学術研究奨励賞を受賞させて頂き、大変光栄に存じます。病理診断学の大林千穂教授、教室員の皆様に感謝申し上げます。本研究は、大学院生として取り組ませて頂いたマイクロRNA関連の研究です。本研究を通じ、いつも顕微鏡で眺めている固定された組織・細胞の外で起きている動的な変化の奥深さを学ばせて頂いた事に、有り難い気持ちで一杯です。研究を全面的にご指導頂きました生化学の高澤伸教授ならびにスタッフの先生方に深謝致します。今後は病理医として、更に研究を発展させられるように研鑽に励んで参ります。



Information

## 第10回女性研究者学術研究奨励賞を募集中です

本学では、優れた研究成果を挙げた本学的女性研究者に対して、その研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成及びこれによる男女共同参画の促進等に資することを目的に、女性研究者学術研究奨励賞を授与しています。現在、第10回女性研究者学術研究奨励賞の受賞候補者を募集していますので、積極的なご応募をお待ちしています。なお、募集要項及び申請書は、学内専用HP(女性研究者・医師支援センター)に掲載しています。

《募集期間》令和3年1月29日(金)正午まで

《応募資格》次の①及び②を満たす者

①本学女性研究者

②医学科・看護学科の教員(教授を除く教員で、寄附講座教員、特任教員及び共同研究講座教員を含む。)、博士研究員、特別研究員、大学院生又は医員



## Report 本学教員の競争的資金獲得割合

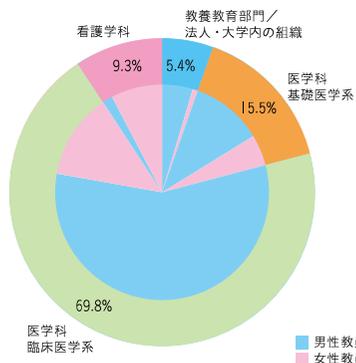
現在多くの大学にとって外部資金獲得及び財源の多様化は取り組むべき課題となっています。外部資金獲得において最も一般的なものは競争的資金の獲得です。以下に示す競争的資金とは、文部科学省科学研究費助成事業、厚生労働科学研究費補助金及び厚生労働行政推進調査事業費補助金、日本医療研究開発機構研究費です。

### 専任教員数

(令和2年9月1日現在)

	性別	人数	合計
	教養教育部門／法人・大学内の組織	男	
	女	3人	
医学科基礎医学系	男	42人	60人
	女	18人	
医学科臨床医学系	男	220人	270人
	女	50人	
看護学科	男	6人	36人
	女	30人	
全体	男	286人	387人
	女	101人	

### 部門別専任教員の男女割合

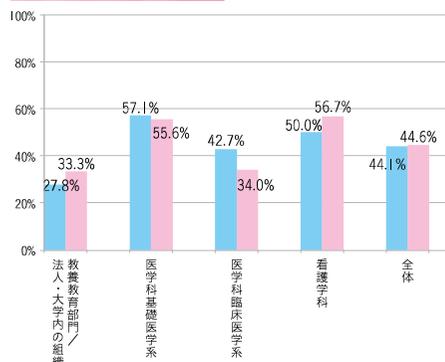


### 競争的資金獲得教員数

(令和2年9月1日時点で在籍する本学専任教員が研究代表者として競争的資金を獲得している人数)

	性別	人数	合計	獲得割合	
	教養教育部門／法人・大学内の組織	男	5人	6人	27.8%
	女	1人	33.3%		
医学科基礎医学系	男	24人	34人	57.1%	56.7%
	女	10人		55.6%	
医学科臨床医学系	男	94人	111人	42.7%	41.1%
	女	17人		34.0%	
看護学科	男	3人	20人	50.0%	55.6%
	女	17人		56.7%	
全体	男	126人	171人	44.1%	44.2%
	女	45人		44.6%	

### 男女別競争的資金獲得割合



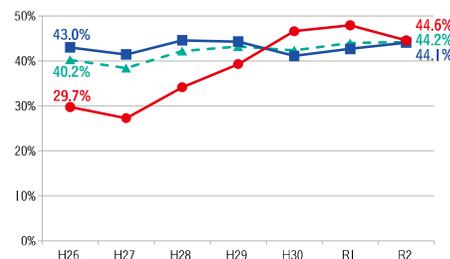
今年度、競争的資金を獲得した専任教員は171人で令和元年度の168人から3人増加しました。しかし、教員全体の獲得割合は44.2% (387人中171人) であり、令和元年度の44.0% (382人中168人) とほぼ同程度という結果でした。

部門別では、基礎医学系教員の獲得割合が56.7% (60人中34人)、看護学科教員の獲得割合が55.6% (36人中20人) となっており、これら2部門では過半数の教員が獲得しています。教養教育部門／法人・大学内の組織の教員の獲得割合は28.6% (21人中6人)、臨床医学系教員の獲得割合は41.1% (270人中111人) でした。

男女別では、男性教員の獲得割合が44.1% (286人中126人)、女性教員の獲得割合が44.6% (101人中45人) と、男女教員間に有意な差を認めませんでした。



図1 男女別競争的資金獲得割合の推移



平成26年度から令和2年度の競争的資金獲得割合の推移を見ると、過去7年間で全体は穏やかに上昇し、直近5年間は40%を超えています。男性教員の獲得割合には大きな変化を認めませんが、女性教員の獲得割合は年々上昇し、平成30年度からは、女性教員の獲得割合が男性教員を上回っています(図1)。

▲ 全体 ■ 男性教員 ● 女性教員



図2 部門別競争的資金獲得割合の推移

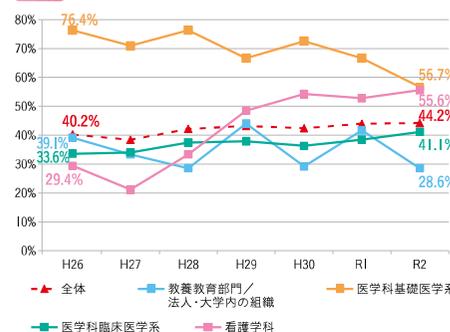
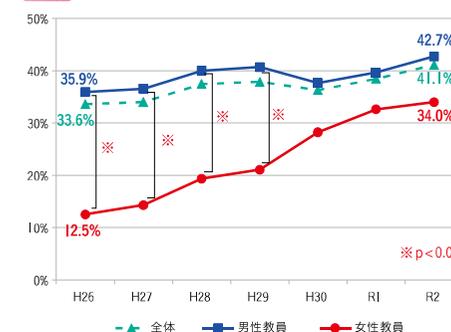


図3 臨床医学系教員の男女別獲得割合の推移



部門別で見ると、基礎医学系教員の獲得割合は平成26年度以降本学で最も高い状況ですが、平成26年度の76.4%から徐々に低下し本年度は56.7%になっています。基礎医学系教員の獲得割合の回復に向けた対策が必要と考えます。一方、看護学科教員の獲得割合は年々上昇し、平成26年度の29.4%から本年度は55.6%に上昇しています(図2)。

これまで本学女性教員の中で最も競争的資金の獲得割合が低かった臨床医学系女性教員においても、獲得割合は徐々に高くなり、平成26年度の12.5%から本年度は34.0%に上昇しています。平成30年度からは、臨床医学系教員の男女間に認めた獲得割合の有意差も解消されています(図3)。

これら女性教員の研究力向上は、法人全体で取り組んできた女性研究者・医師に対する支援活動の成果と思われます。今年度の競争的資金獲得に関する詳細なデータは当センターHPでも公開していますので是非ご覧ください。



## 令和3年度上半期研究支援員配置希望者を募集します

当センターでは、妊娠・出産、育児、不妊治療、介護等のライフイベントにより、一定期間、研究時間が十分に確保できない女性研究者・医師を対象に研究支援員を配置しています。現在は診療助教1名、臨床医学系教員5名、基礎医学系教員1名、看護学科教員1名の合計8名の女性研究者がこの制度を利用しています。

本学に所属する常勤の女性専任教員(教授、准教授、講師、助教)、診療助教及び研究助教で、以下に該当する方が支援対象となります。

- (1) 妊娠から出産までの期間の方
- (2) 子育て中で小学校6年生までの子どもを自身で主に養育している方
- (3) 要介護者・要看護者である家族を自身が主に介護・看病している方
- (4) 不妊治療中の方

令和3年度上半期(令和3年4月~令和3年9月)の希望者募集については、1月中旬に学内一斉メール・学内専用HPなどから案内予定です。制度の利用を検討されている方は女性研究者・医師支援センターへお問い合わせください。



## 「令和元年度 職員満足度調査」集計結果(労働時間編)

令和2年2月に実施した全職員対象の職員満足度調査から、今回は1週間あたりの総労働時間に関する結果をご紹介します。平成27年度に実施した同様の調査結果と比較すると、週の総労働時間が50時間以上と回答した看護師の割合が18.5%から40.6%と高くなっており、時間外労働の見直しが必要と思われます。一方、医師では週の総労働時間が60時間を超えると回答した割合は51.6%にのぼり、平成27年度の47.0%と比べて有意な差はなく、長時間労働の改善は認められませんでした(図1)。

今回新たに質問した「適切と思う1週間あたりの総労働時間」に対しては、医師以外の全職種で38.75時間以上50時間未満を選択した割合が最も高く、50時間未満と回答した割合は看護師、医療技術職員、事務職員等では80%を超えています(図2)。

医師を男女別で見ると、週に60時間以上働く割合は男性医師で59.1%、女性医師で30.6%と、男女で有意な差を認めました。一方、適切と思う総労働時間を60時間以上と回答した割合は、男性医師で16.7%、女性医師で10.2%に過ぎず、医師の1週間あたりの総労働時間を60時間未満とする対策が必要と思われます(図3)。

令和元年度職員満足度調査の結果は、学内専用HP(人事課)でも公開していますので、是非一度ご覧ください。

図1 超過勤務を含めて、あなたの1週間あたりの総労働時間(年間平均)はどれくらいですか

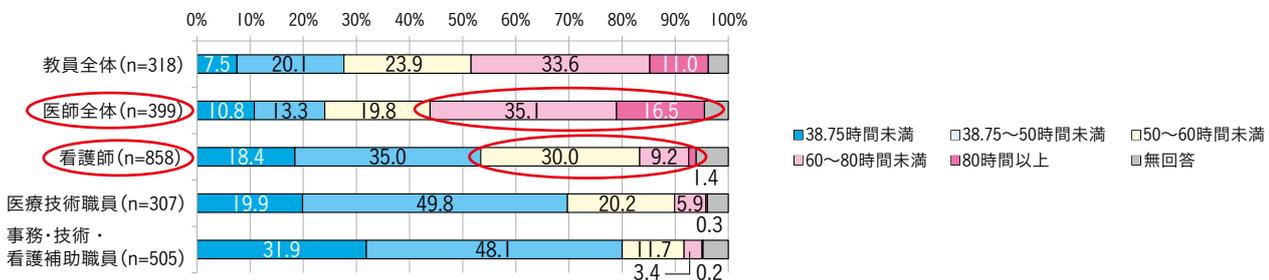


図2 あなたが適切と思う1週間あたりの総労働時間(年間平均)はどれくらいですか

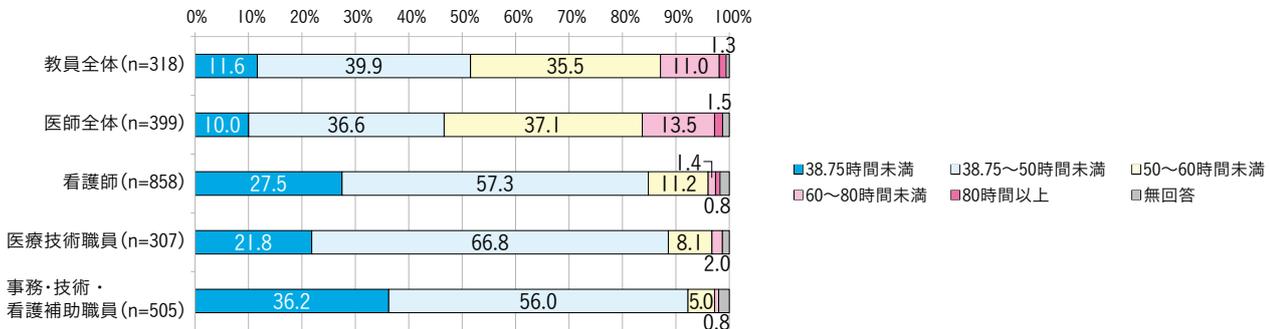
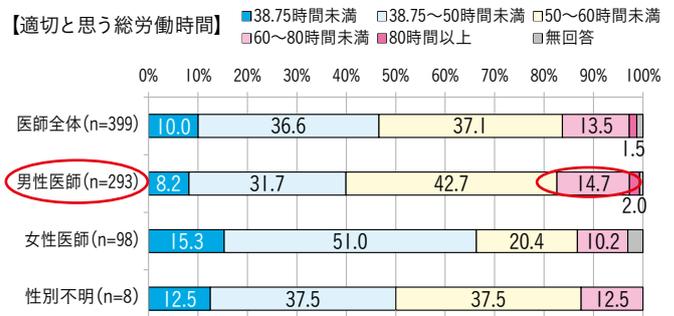
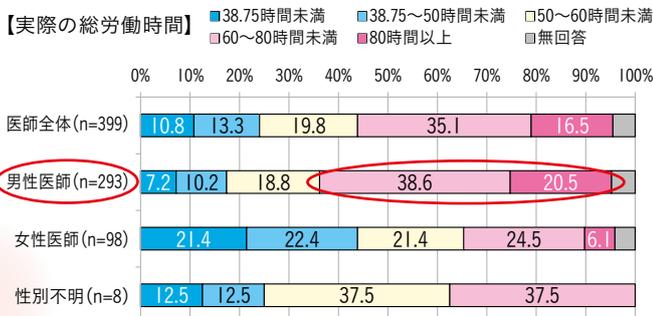


図3 医師の男女別総労働時間(年間平均)について



### 【編集後記】

今年も残すところわずかとなりました。COVID-19により様々な計画が変更となり、ままならない1年でしたが、一方で、本当に大切なものや人の存在に気付かされた1年でもあったと思います。皆さまが、穏やかな新年をお迎えになられますことを祈念しています。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



### 【編集・発行】

奈良県立医科大学 女性研究者・医師支援センター「まほろば」  
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840  
奈良県立医科大学 基礎医学棟5階  
TEL: 0744-23-8011(直通)  
0744-22-3051(代) 内線: 2525  
E-mail: jshien@narmed-u.ac.jp

